

保険診療価格一覧（2022年4～）

【一般不妊治療】

- ・一般不妊治療管理料： 750円（3ヶ月に1回）
- ・人工授精： 5,460円

【生殖補助医療】

1. 生殖補助医療管理料：750円（体外受精周期毎）
 - ・排卵誘発剤：実費（保険）約10,000～20,000円
 - ・超音波検査、ホルモン検査： 1回 約4,000円
※1周期3回程度
2. 採卵基本料：9,600円（卵が採取できなかった場合）
 - ・採卵毎に下記を加算（基本料＋加算）

1個	7,200円（合計：16,800円）
2～5個	10,800円（合計：20,400円）
6～9個	16,500円（合計：26,100円）
10個以上	21,600円（合計：31,200円）

3. 受精法

- 3-a. 媒精（一般体外受精）12,600円
L（個数にかかわらず一律）

3-b. 顕微授精（ICSI）

1個	14,400円
2～5個	20,400円
6～9個	30,000円
10個以上	38,400円

※両方（3-a, 3-b）実施の場合は、
媒精の半分（6,300円）＋顕微授精代

【保険適用価格（負担額：3割）】

4. 受精卵培養（受精した個数毎）

1個	13,500円
2～5個	18,000円
6～9個	25,200円
10個以上	31,500円

5. 胚盤胞加算（胚盤胞まで培養する個数）

4. 受精卵培養に下記を加算

1個	4,500円
2～5個	6,000円
6～9個	7,500円
10個以上	9,000円

6. 胚移植

新鮮胚移植	22,500円（※合計：25,500円）
融解胚移植	36,000円（※合計：39,000円）

※アシステッドハッチング：3,000円

7. 胚凍結保存

1個	15,000円
2～5個	21,000円
6～9個	30,600円
10個以上	39,000円

※保険適用の回数カウントについては、「移植」まで実施した場合を基準とし、「採卵」の回数ではありません。

※将来使用目的での採卵については、保険適用外となります

